

平成23年第1回竹原市議会定例会会議録

平成23年3月17日開議

(平成23年3月17日)

議席順	氏 名	出 欠
1	山 元 経 穂	出 席
2	高 重 洋 介	出 席
3	井 上 美 津 子	出 席
4	山 村 道 信	出 席
5	大 川 弘 雄	出 席
6	道 法 知 江	出 席
7	宮 原 忠 行	出 席
8	片 山 和 昭	出 席
9	北 元 豊	出 席
10	稲 田 雅 士	出 席
11	松 本 進	出 席
12	吉 田 基	出 席
13	脇 本 茂 紀	出 席
14	小 坂 智 徳	出 席

職務のため議場に参加した者は、下記のとおりである

議会事務局長 宮 地 憲 二
議会事務局係長 笹 原 章 弘

説明のため議場に出席した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名	出 欠
市 長	小 坂 政 司	出 席
副 市 長	三 好 晶 伸	出 席
教 育 長	前 原 直 樹	出 席
総 務 部 長	今 榮 敏 彦	出 席
総 務 課 長	桶 本 哲 也	出 席
情 報 化 推 進 室 長	平 田 康 宏	出 席
企 画 政 策 課 長	豊 田 義 政	出 席
財 政 課 長	塚 原 一 俊	出 席
税 務 課 長	久 重 雅 昭	出 席
会 計 管 理 者	大 下 建 宗	出 席
監 査 委 員 事 務 局 長	堀 川 豊 正	出 席
選 管 ・ 事 務 局 長	桶 本 哲 也	出 席
市 民 生 活 部 長	中 沖 明	出 席
市 民 健 康 課 長	森 野 隆 典	出 席
ま ち づ く り 推 進 課 長	大 澤 次 朗	出 席
文 化 生 涯 学 習 室 長	西 口 広 崇	出 席
忠 海 支 所 長	森 野 隆 典	出 席
人 権 推 進 室 長	中 沖 明	出 席
福 祉 課 長	大 宮 庄 三	出 席
子 ども 福 祉 室 長	井 上 光 由	出 席
建 設 産 業 部 長	谷 岡 亨	出 席
産 業 振 興 課 長	中 川 隆 二	出 席
観 光 交 流 室 長	堀 信 正 純	出 席
建 設 課 長	柏 本 浩 明	出 席
都 市 整 備 課 長	有 本 圭 司	出 席
区 画 整 理 室 長	山 元 立 志	出 席
下 水 道 課 長	大 田 哲 也	出 席
農 業 委 員 会 事 務 局 長	西 原 正 教	出 席
教 育 委 員 会 教 育 次 長	新 谷 寿 康	出 席
教 育 委 員 会 学 校 教 育 課 長	亀 井 伸 幸	出 席
教 育 委 員 会 教 育 振 興 課 長	新 谷 寿 康	出 席
水 道 課 長	前 本 憲 男	出 席

付議事件は下記のとおりである

- 日程第 1 議案第 19 号 平成 23 年度竹原市一般会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 2 議案第 20 号 平成 23 年度竹原市国民健康保険特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 3 議案第 21 号 平成 23 年度竹原市貸付資金特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 4 議案第 22 号 平成 23 年度竹原市港湾事業特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 5 議案第 23 号 平成 23 年度竹原市公共下水道事業特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 6 議案第 24 号 平成 23 年度竹原市公共用地先行取得事業特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 7 議案第 25 号 平成 23 年度竹原市介護保険特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 8 議案第 26 号 平成 23 年度竹原市後期高齢者医療特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 9 議案第 27 号 平成 23 年度竹原市水道事業会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 10 議案第 28 号 平成 22 年度竹原市一般会計補正予算（第 7 号）
- 日程第 11 発議第 23-1 号 年金引き上げを求める意見書（案）
- 日程第 12 閉会中継続審査（調査）について（議会運営委員会・総務文教委員会・民生産業委員会）

午前11時12分 開議

議長（脇本茂紀君） ただいまの出席議員は14名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

会議に入ります前に、3月11日に起きた東日本大震災において多くの方々のとうとい命が犠牲となりました。ここに哀悼の意を込めまして、謹んで黙祷をささげたいと存じます。

皆様、御起立をお願いいたします。

黙祷。

〔黙 祷〕

議長（脇本茂紀君） お直りください。ありがとうございました。御着席をお願いいたします。

これより本日の会議を開きます。

お手元に日程表その2を配付いたしております。この日程表のとおり会議を進めます。

日程第1～日程第9

議長（脇本茂紀君） 日程第1、議案第19号平成23年度竹原市一般会計予算から日程第9、議案第27号平成23年度竹原市水道事業会計予算までの9件を一括議題といたします。

事務局職員から報告文を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 予算特別委員会委員長の報告を求めます。

予算特別委員会委員長（北元 豊君） 予算特別委員会委員長報告をいたします。

ただいま事務局職員が朗読いたしましたとおり、当委員会へ付託された議案第19号平成23年度竹原市一般会計予算、議案第20号平成23年度竹原市国民健康保険特別会計予算、議案第21号平成23年度竹原市貸付資金特別会計予算、議案第22号平成23年度竹原市港湾事業特別会計予算、議案第23号平成23年度竹原市公共下水道事業特別会計予算、議案第24号平成23年度竹原市公共用地先行取得事業特別会計予算、議案第25号平成23年度竹原市介護保険特別会計予算、議案第26号平成23年度竹原市後期高齢者医療特別会計予算、議案第27号平成23年度竹原市水道事業会計予算につきましては、全体会議並びに専門項目ごとにそれぞれの分科会において慎重審査いたしました結

果、当予算特別委員会としては9会計すべてを原案のとおり可決すべきものと決定いたしましたので、御報告いたします。よろしく御審議の上、御決定のほどお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） 質疑を省略し、これより順次討論、採決いたします。

議案第19号平成23年度竹原市一般会計予算について、委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。

これより討論に入ります。

11番。

11番（松本 進君） 議案第19号2011年度、平成23年度の竹原市一般会計予算案に私は反対討論を行います。

今、国民の生活、暮らしは、依然として大変厳しい事態に置かれています。その原因は、新自由主義の政治、構造改革路線の失政にあります。民間賃金は、ピーク時の1997年から年収で平均61万円、総額で約31兆円も減っています。その一方で、大企業の内部留保は244兆円まで膨れ上がり、空前の金余りとなっています。今こそ、正職員が当たり前の働くルールをつくり、雇用の創出と賃金の引き上げが必要だと考えます。さらに、医療や年金、福祉など、社会保障の充実こそ安心できる社会の土台を築くこととなります。

今、政治に必要なことは、国民の暮らしを支え、経済の健全な成長を図ることだと私は考えています。私は、竹原市の新年度予算で必要なことは、子育て支援体制を抜本的強化し、竹原市の人口を減少から逆に増加させる思い切った政策転換をすること、子育て世代が竹原市に安心して住める環境整備を急ぐべきであります。さらに、公共事業は、学校や公共施設の耐震化促進を抜本的に強化すること、住宅リフォーム助成制度を早急につくり、地元業者の仕事をふやすこと、小規模、維持管理、地域循環型で市民生活に密着した公共事業を中心に据える抜本的な転換が必要だと考えています。

2011年度の予算案は、新開土地地区画整理事業等に約4億円余り、県営道路整備事業3路線3億7,300万円の負担金、従来型の公共事業の予算措置であります。事業の経済波及効果や緊急必要度からも、明確な説明責任が果たされているとは言えません。

新しいごみ処理施設等の整備に伴う負担金が2010年度734万2,000円、2011年度839万2,000円と、合計で1,573万4,000円が計上されています。新聞報道では、新ごみ処理施設の建設費は約230億円と見込まれており、竹原市の

負担金は約33億4,700万円となります。ごみの分別収集による資源化、リサイクル化を竹原市として十分に検討することなく大規模焼却施設を建設することは、最大の無駄遣いであります。ことし3月までに用地決定との報道でありますけれども、建設場所や用地面積、用地費などが市議会の予算分科会に報告できないという事態は、市議会や市民不在の行政運営であります。強く抗議するとともに、即刻情報公開を強く求めておきたいと思っております。

さらに、常備消防委託料5億1,195万9,000円は、消防組織法第6条に定める市の責務を放棄し、市民の生命、財産を東広島消防局に丸投げする予算措置であります。竹原市が市民に直接責任を持てる消防活動組織に改めるべきであります。

地域情報通信基盤整備事業費2億5,152万3,000円については、防災情報などの公平な行政運営が欠落していると考えます。また、採算性を十分検討しないなど、今後の公設民営の新たな税金投入になりかねません。

学校給食配送業務委託料1,341万8,000円は、入札条件の公平性の疑問、労働者の低賃金問題など、公契約発注のあり方が厳しく問われていると考えます。市が発注する公契約条件が適正に執行されるように、見直しを強く求めたいと思っております。

農業、漁業の予算措置については、再生産できる価格補償、所得補償の第一歩を踏み出すことを強く求めたいと思っております。

人権推進事業費等についてであります。

2002年3月末、同和問題の地対財特法が失効して9年がたちました。人権推進室の予算説明資料では、過去5年間部落差別に起因する結婚差別、就職差別は0件で、差別事件は発生しておりません。しかし、従来どおりの予算措置が新年度も継続されています。部落解放団体50万円の予算削減など、この是正を強く求めておきます。

最後に、貧困と格差の拡大で苦しむ市民の福祉、生活を守るためには、特別養護老人ホームの建設など、介護入所施設整備が急がれます。また、一般財源から、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療など、特別会計への財政支援措置による各保険料や利用料の負担軽減措置は待ったなしの緊急課題であると考えます。今こそ不要不急の公共事業、無駄な予算措置は抜本的に見直し、生活密着型公共事業、地域循環型公共事業への転換を強く求めておきたいと思っております。

以上で2011年度一般会計予算案に反対意見といたします。

議長（脇本茂紀君） 14番。

14番（小坂智徳君） 私は、平成23年度竹原市一般会計予算原案につきまして、賛成の立場で討論をさせていただきたいと思います。

一般会計予算約123億円弱の予算計上でございます。市長を初め、多くの関係者の方々におかれましては、この予算編成に当たりましていろいろと苦慮する中で、厳しい財政状況の中で本年一般会計予算を計上された、このように拝察をさせていただくわけでございます。そういった中、分科会等々でも多くの議員の皆さん方が各分科会におきまして指摘あるいは多くの要望事項等々、こういったことも開陳をされたわけでございます。そういった意味合いもあるわけでございますが、一定的には先ほど反対討論の中にもありましたが、私は子育て支援等々、あるいは高齢者に配慮した予算づけ、今まで光の当たることのなかった、そういった分野において予算編成をされておられる、このような判断をしておるわけでございます。しかし、反面、予算執行に当たりましては、関係部課長の皆さん方、こういった方々におかれましては、適正で、そして早期の予算執行、こういったことも踏まえて予算執行をやっていただきたい。

また、もう一点、厳しく言いますと、この可決をされまして、平成23年度の一般会計予算執行に当たりまして、いろんな意味で私ども議会のチェック機能でございます平成23年度の決算どきにおきまして、多くの指摘事項がないような、そういった予算執行ができるものと期待をさせていただきまして、この平成23年度竹原市一般会計原案には賛成をさせていただきたいと思います。

以上でございます。

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（脇本茂紀君） 起立多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第20号平成23年度竹原市国民健康保険特別会計予算について、委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第21号平成23年度竹原市貸付資金特別会計予算について、委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第22号平成23年度竹原市港湾事業特別会計予算について、委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第23号平成23年度竹原市公共下水道事業特別会計予算について、委員長の報告

は原案のとおり可決すべきものとするものであります。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第24号平成23年度竹原市公共用地先行取得事業特別会計予算について、委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第25号平成23年度竹原市介護保険特別会計予算について、委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第26号平成23年度竹原市後期高齢者医療特別会計予算について、委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。

これより討論に入ります。

11番。

11番（松本 進君） 議案第26号2011年度、平成23年度の竹原市後期高齢者医療特別会計予算に私は反対の立場から発言したいと思います。

この医療保険制度は、75歳以上という年齢でこれまでの医療保険から切り離され、保険料の値上げや医療内容を制限するという差別医療を導入しているものであります。予算特別委員会全体質疑で明らかにしたように、月額年金が1万5,000円以下の人、あるいは無収入、無年金の人まで均等割の保険料を払わなくてはなりません。最大軽減措置が実施されても、年額約4,200円余り、月額約350円余りの保険料が課税されております。私は、緊急措置として、年金月額1万5,000円以下の高齢者には、保険料相当額を市独自の支援措置で給付することを強く求めておきたいと思っております。

高齢者の生活実態を無視した保険料の値上げの仕組みや差別医療の導入など、後期高齢者医療制度は即刻廃止すべきであると考えます。民主党新政権が、この制度の廃止を先送りしていることは公約違反であり、絶対に許されないと考えます。

以上で私の反対討論といたします。

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（脇本茂紀君） 起立多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第27号平成23年度竹原市水道事業会計予算について、委員長の報告は原案のとおり可決すべきものとするものであります。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第 10

議長（脇本茂紀君） 日程第 10、議案第 28 号平成 22 年度竹原市一般会計補正予算（第 7 号）を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長（小坂政司君） 議案第 28 号平成 22 年度竹原市一般会計補正予算（第 7 号）について、その概要を御説明申し上げます。

今回の補正予算につきましては、本年 2 月 24 日に学校の図書購入を希望された寄附があったことに伴い、また 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震において東北地方を中心として未曾有の人的、物的被害が発生していることから、本市といたしましても、初動的な取り組みの一つとして、義援金による支援を行う必要があると考え、追加で提案するものであります。

まず歳出であります。総務費においては各種負担金、補助金等に要する経費として、東北地方太平洋沖地震義援金 300 万円を追加計上しております。

教育費においては、小学校教材整備に要する経費として、図書購入費 250 万円、中学校教材整備に要する経費として、図書購入費 100 万円、合わせて 350 万円を追加計上しております。

これに対し歳入であります。歳出に係る特定財源として、寄附金 350 万円を追加計上するとともに、一般財源として繰入金 300 万円を追加計上し、収支の均衡をとっております。

以上により、歳入歳出それぞれ 650 万円を追加し、予算総額は歳入歳出それぞれ 12

2億2,702万3,000円となるものであります。

何とぞ慎重に御審議いただいた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより質疑に入ります。

7番。

7番（宮原忠行君） 先般も水道課の職員が郡山のほうへ派遣をされました。それで、その後のテレビ報道等を見ておりますと、先導車がついて、四、五名ぐらいで行かれておるわけです。非常に福島原発の被曝の問題のおそれも出てきとるわけです。

それと、私そのときも思ったわけですが、例えばこれ議長のほうからはおしかりを受けるかもわかりませんが、給水車を出されると、市としての対応をされるということであれば、ぜひとも議長といいますか、議会といいますか、早急に協議といいますか、していただいて、例えば給水車を出すときに、例えばこうした一連の対策といいますかを一度に打ち出せば、恐らくマスコミの取り扱いというものも違ってくるんだと思うんです。竹原の水のペットボトル、竹原のアピールということを言われたわけですが、ある意味でいえば、こうした未曾有の大震災にかこつけて竹原市のアピールというのは不謹慎な言い方かも知れませんが、例えば東広島市であれば、サタケさんのほうから、米のレトルト食品といいますかね、そういったものも一緒になってセットになって宣伝をされますから、例えば道の駅にかかわっても、地域ブランド、2階の展示コーナーへアヲハタさんの例えばカキカレーとか、いろんなレトルト食品等もあるわけですよ。もう少し理事者側あるいは議会、そして経済界、合わせてやはりもう少し何か後追的だといいますか、私は余りにもこうした対応に対しましてツーレイト・ツースモール、ツーレイトというのは、合わないかも知れませんが、しかし出し方というのが、私はやはり1つずつずれとるんじゃないかという気がしとるわけです。そして、ツースモールです。そして、ある意味で言えば、竹原市の総合力、地域としての総合力というものをもっと強く打ち出していけば、恐らくはマスコミの取り扱いも変わってくるんじゃないかと思うんです。ぜひとももう少しうまく、こういう未曾有の大震災のときに、こういう言い方は不謹慎になるかも知れませんが、しかし、あらゆる機会を通して、やはり竹原市の存在を県内あるいは全国に向けて発信をしていく、その発進力というのは、やはりもっと発揮をしていかなきゃならんんじゃないかと、こういうふうに思うとるわけです。ですから、次にもしこういう問題があっちゃあいけんのですけれども、南海じゃ東海じゃというて、あと30年どうのこうのという話があるわけですから、そのとき我々はいないわけで

すけれど、やはりそうしたことに對してもっと真剣に、また小出しじゃなくて総合的に打ち出して、そして市民の皆さんにも十分なる御理解と、よく頑張ってくれたなというような評価をいただけるような決定の仕方といたしますか、総合的な企画力といたしますか、そういうものを求めておきたいと思ひます。

そして同時に、ちょっと時期的にずれまして、後追ひの理屈になるかも知れませんが、やはり水道課の職員2人行つとるわけですけれども、福島原発、ああいう非常に心配されるような状況です。一体どういふ状況になるかわからんわけで、それで本来ならば、全国水道協会のほうの要請に応じたということであるかも知れませんが、ある意味で言えば、竹原市においてそうした災害が起きたときの一つの教訓を得るといひますか、経験を得るといひますか、知見能力を高めるためにも、例えば防災対策本部といひますか、総務課のほうからもやはり2名ぐらいを出して、そこら辺が両方うまいこと連携できてやっつけられるような、そうしたまさかということはないと思ひますけれども、緊急の場合には連絡がとり合えるような、そういう対応が私は要つたんじゃないかと、こういうように考へておるんです。これに反対じゃと言ふんじゃないんです。一つ私の願ひといひますか、2人で行くといふんは、距離的に考へても、やはり疲労といふのはかなりなものがあると思ひますわ。そこでいろんな風評被害とかといふんも出てくる中での対応ですから、今回こういったことで、後追ひの理屈かも知れませんが、例えば、出発式の時にも、やはり行かれる職員に、竹原市を代表して行かれるわけですから、竹原市を代表して行く職員としての決意表明とかといふようなこともやっぱり私は配慮すべきではなかつたかと、このように考へとるわけです。そうしたことをもろもろ申し上げましたけれども、議案そのものは賛成でございますので、ぜひ次の参考にも、もし役に立つようであれば、私の意見もぜひとも検討していただきたいと思ひます。

以上です。

議長（脇本茂紀君） 答弁はいいですか。

（8番片山和昭君「関連」と呼ぶ）

8番。

8番（片山和昭君） 関連して質問をいたします。

先ほど、7番議員が言われたように、私も毎日テレビを見ているんですが、これは大変長期にわたって問題が続くわけでございますので、これ一過性でなく、やはり第二弾、三弾、長期的に考へて、やっぱり支援体制をつくるべきだと私は思っています。

それで、そうするためには、市役所の中にも担当部署というものがやっぱりしっかりされないと、取りまとめができないと思います。例えば、ここには広果連等段ボール会社があるわけですが、避難所を見ても、段ボール物すごい必要なんですよ、実際は。今、寒いところで行っているわけですが、そういった企業等もやはりまとめていただきたいと思っています。

そして、義援金についても、支所とか玄関でやってるわけですけど、実際ところの人も皆さん出したいわけなんですけど、竹原まで来て出すというわけにはなかなかいかない点もあります。そういった面で、やはり公民館とか集会所とか、皆さんが近寄れるようなところへやはり働きかけをぜひ行ってもらいたい。そういうことで、やはり一弾、二弾、三弾、そういったかたい組織をつくって、続けていく必要があると思いますんで、その辺の取り扱いをぜひお願いしておきたいと思っています。

以上です。

議長（脇本茂紀君） 答弁願います。

（8番片山和昭君「答弁はいいです」と呼ぶ）

（「答弁要らんかったら、質疑にならんのかな」と呼ぶ者あり）

（8番片山和昭君「それじゃあ、答弁」と呼ぶ）

副市長、答弁。

副市長（三好晶伸君） このたびの災害が、我が国にとってもほんとに史上例のない未曾有の災害であるということについては、御承知のとおりでございます。

そういった中で、先ほど来の御質問の中に、人的あるいは物的にも想像を絶する被害が及んでいるところがございます、各方面においてもさまざまな支援の輪が広がっているところがございます。全国的にも、地方公共団体としても可能な限り、人的、物的支援が今行われているという状況の中で、本市といたしましても、即座にこの支援に対する対策本部、これを設置を既にいたしております。そういった中で、情報の収集であるとか、支援の中身について日々いろんな国あるいは県、全国の市長会、あるいは県の市長会、また当地からのいろんなさまざまな情報の収集を今行っておりますので、その都度人的、物的支援についても、今後引き続き支援をしてまいりたいということでございますので、よろしく御理解のほどお願いしたいと思います。

議長（脇本茂紀君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第 1 1

議長（脇本茂紀君） 日程第 1 1、発議第 2 3－1 号年金引き上げを求める意見書（案）を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 提出者より提案理由の説明を求めます。

1 1 番（松本 進君） 年金引き上げを求める意見書の提案理由を説明いたします。

先ほど事務局職員が説明いたしましたように、高齢者の置かれた実態、生活というのは大変厳しいものが引き続いております。また、後期高齢者医療保険制度の仕組みでもお話ししましたように、無年金の方でも年額 4, 0 0 0 円余りの保険料が掛けられるという仕組みが続いています。私は、こういった高齢者年金生活者の生活を少しでもよくしたいという立場から、政府に対しては無年金・低年金者に生活支援を支給すること、2 つ目として無年金・低年金者の実態を把握し、対応していただくこと、この 2 つのことを政府に求めるものであります。

皆さん方の御同意、御決定のほどをよろしくお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

7 番。

7番（宮原忠行君） 提案者の御意見については、一般質問あるいは予算特の全体質疑、また分科会においてもいろいろ主張は一貫しておられます。また、23年度の当初予算に対する反対討論の中でも、竹原市独自のそうした生活保障制度というか、そうしたものを主張されてきたわけであります。

私も、お話をお伺いをさせていただいたときに、控室のほうで幾らか議論はさせていただきました。今現実には、年金が空洞化して、現役世代といいますが、若い人がその負担にあえいでいるわけです。それで同時に、年金財政もあえいでおるといような状況です。そしてまた、未曾有の大震災によりまして、きょうあたりの新聞報道を見ますと、最低でも10兆円、ひょっとすると二十数兆円です。それで、民主党のほうは、子ども手当とか、高速道路の無料化、これの財源を回すとかというような議論もされておりますけれども、とてもじゃないですけど、間に合いませんよ。そうしますと、またどうしたって10兆円を超えるような、あるいは20兆円を超えるような赤字国債の発行と。もちろん、港湾とか道路とか、ハード面については建設国債でしょうけれども、いずれにしても、膨大な積み上がった借金の上に、なおかつ借金が上積みをしていくわけです。今のところ、中央の政治状況いろいろありますけれども、いずれにしても政権交代が実現して、恐らくはもう増税やむなしということは、コンセンサスをすれば、国会のコンセンサスにはなりつつあるんであろうと思っておるわけです。そうした意味において、恐らく提案者の方が言われておられるように、生活保護と年金との落差です。このことも含めて、今検討もされておられるわけですが、しかしいずれにしても、負担増ということは避けられない状況になってきます。そして、それがどういう形になるかわかりません。社会保障と税の一体改革、これ恐らく自公連立政権のような形での決着を私は見るんじゃないかと、こう考えております。そういった意味におきまして、今恐らく国会でも、もう一度選挙を経んとだめなんかどうかわかりませんが、いずれにしても負担増を含めた社会保障のあり方というものが議論になってくるわけで、そうした状況をまた国が今の未曾有の大震災へ財源に四苦八苦しとるときにおいて、提案された時期は違うんですけれども、そうした時期において、私はこの意見書を採択することについて、時期としても適当であるかどうかという疑問を持たざるを得ないわけであります。積極的な反対という意味じゃないんです。積極的な反対というんじゃないんですけれども、私自身が納得しかねるところがありますので、一応反対という形での討論という形で整理をさせていただきたいと、こういうことですので、よろしく願いをいたしたいと思っております。

議長（脇本茂紀君） 11番。

11番（松本 進君） 私は、賛成の立場で討論したいと思うんですが、提案者として先ほど趣旨もその場で申し上げました。確かに、財源とかいろいろあると思うんですが、高齢者の置かれた実態というのは共通できるのではないかとということがありまして、いろいろ生活支援という面で意見書を上げていただいて、政府としても対策をとっていただきたいということが主な趣旨でありますので、ぜひとも御理解いただければというふうに思います。

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（脇本茂紀君） 起立多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第12

議長（脇本茂紀君） 日程第12、閉会中継続審査（調査）についてを議題といたします。

お手元に配付いたしておりますとおり、議会運営委員会委員長並びに各常任委員会委員長から会議規則第73条の規定により、閉会中の継続審査（調査）の申し出がありました。

お諮りいたします。

それぞれの委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査（調査）とすることにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、それぞれの委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査（調査）とすることに決しました。

以上をもって今期定例会に付議された案件はすべて議了いたしました。

閉会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

まずもって、このたびの東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に対しまして心からお

見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々に対しまして衷心より御冥福をお祈りいたします。

さて、今期定例会は3月2日開会以来、本日まで16日間にわたり、122億8,500万円余りの一般会計ほか、7特別会計、水道事業会計合わせて、総額216億円余りの新年度当初予算案を初め、多数の重要案件について御審議いただき、本日ここに全議案を議了いたし、閉会の運びとなりました。

議員各位におかれましては、竹原市の発展と福祉の向上を願い、終始熱心な御審議をいただきまして、深甚なる敬意を表しますとともに、衷心よりお礼を申し上げる次第でございます。

また、市長を初め、理事者各位におかれましては、誠意を持って審議に御協力いただき、その御労苦に対しまして厚くお礼を申し上げます。

社会経済情勢は、諸問題の続出やここへ来ての震災の影響により審議がとまった国会情勢に加え、アラブ諸国の争乱に起因して原油価格が高騰するなど、国の内外において不安定感を増す中、長引く景気低迷、雇用悪化の上に、さらに国民生活を脅かす状況下にあります。

本市におきましても、平成23年度予算は前年度に比べて増額とはなっていますが、その要因は義務的経費の増加など、依然として極めて厳しい財政状況下にあつての予算編成であり、その御労苦は多とするものでありますが、議員各位から寄せられた御意見、御提言などを真摯に受けとめられ、今後の市政執行に際し十分反映し、市民の安心かつ安定した暮らしの確保に向け創意工夫し、職員一丸となって取り組まれるよう切に願うものであります。

終わりに、会期中にお寄せいただきました議員及び理事者各位の御協力に対しまして重ねて厚くお礼を申し上げますとともに、ますますの御活躍を御祈念申し上げまして、閉会のごあいさつといたします。ありがとうございました。

市長より発言の申し出がありましたので、これを許可いたします。

市長（小坂政司君） 本定例会閉会に当たりまして、一言お礼のごあいさつを申し上げます。

まず、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震につきましましては、東北地方を中心に、北海道から関東地方までの広範囲において甚大な被害が発生し、特に東北地方の太平洋沿岸地域においては多数の死傷者や行方不明者を出す大惨事となっております。この災

害によってお亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈りするとともに、一人でも多くの方の救出、また一日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

市では、この災害への対応として、先ほど御決定をいただきました被災地への義援金による支援を初め、被災地支援のための職員派遣や備蓄物物品の提供など行っているところではありますが、今後も被災地の状況や要望等に沿って、できる限りの御支援をしてまいりたいと考えております。

さて、去る3月2日に開会いたしました本定例会におきましては、平成23年度の一般会計、特別会計及び水道事業会計の各予算を初め多くの案件について、終始精力的な御審議の上、御決定をいただき、本日閉会の運びとなりましたことに対し感謝を申し上げますとともに、心より敬意を表する次第でございます。

会期中に賜りました議会からの御意見、御提言を踏まえ、御決定いただきました平成23年度予算の執行につきましては、時代の動きをしっかりと見定める中で、市職員一丸となって経費の節減や効果的かつ円滑な事業推進に努め、目指す将来像「住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら」の実現に向けて、元気で住みよい竹原市づくりに全力を傾注してまいりたいと考えております。

終わりに、議員各位の御審議、御決定に対して重ねて感謝申し上げますとともに、今後とも市政の円滑な運営と諸施策の推進に一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。御礼のごあいさつとさせていただきます。まことにありがとうございました。

議長（脇本茂紀君） これをもって平成23年第1回竹原市議会定例会を閉会いたします。

午後0時09分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

竹原市議会議長

竹原市議会副議長

竹原市議会議員

竹原市議会議員